

地域の活性化

～宇和島きさいやロードの現状と今後の展望～

1年1組 清家 結菜 1年2組 大中 佑夏
1年2組 岡 紗月 1年2組 村上 晴菜
指導者 教諭 松浦 大介

1 課題設定の理由

商店街を通ると人が少なく、シャッターを閉めている店が目立つ。宇和島の中心部であるきさいやロードを盛り上げることで、地域の活性化につながるのではないかと考え、この課題を設定した。

2 仮説

- (1) SNSを活用することで、若者の利用が増えるのではないかと。
- (2) 商店街全体で協力することで、相乗効果が得られるのではないかと。
- (3) 宇和島の特産品を活用することで、宣伝効果が得られるのではないかと。
- (4) イベントを行うことで、集客のきっかけ作りになるのではないかと。

3 研究の方法

インターネットなどで現在の宇和島の状況を調べ、それをもとに商店街の活性化案を考える。次に、実際に商店街へ行き、自分たちが考えた活性化案をもとに聞き取り調査を行い、現在の状況や各店舗が行っている具体的な取組について知る。

4 結果

(1) インターネットで調べた現在の宇和島の状況

- ア 商店街の客数が減り、商店街の空き店舗が増えた。
- イ スーパーなど、生活用品が一店舗にそろっている便利な店が増えた。
- ウ 宇和島の人口の減少に伴い、若い世代の人口の割合が減少した。

店舗のジャンル	H12の店舗数	H26の店舗数	増減
ファッション(衣服)	28	1	-27
飲食店	8	2	-6
食品	6	2	-4
ファッション(雑貨)	5	1	-4
生活雑貨	9	3	-6
宝飾	4	1	-3
ビューティーヘルス	6	2	-4

きさいやロードの店舗数の変化

	S55	H7	H22
全人口	110920	100776	113225※
40才未満の人口	59687	42545	36894
40才未満人口割合	54%	42%	33%

宇和島の人口の変化

※市町村合併により、人口が増加している。

(2) インタビュー結果

ア SNSの活用について

ある店舗では、Facebookなどを利用して積極的に店の広告をしていた。しかし、閲覧者数が増えず、若者の客足が伸び悩んでいるようだ。

イ 商店街の協力体制について

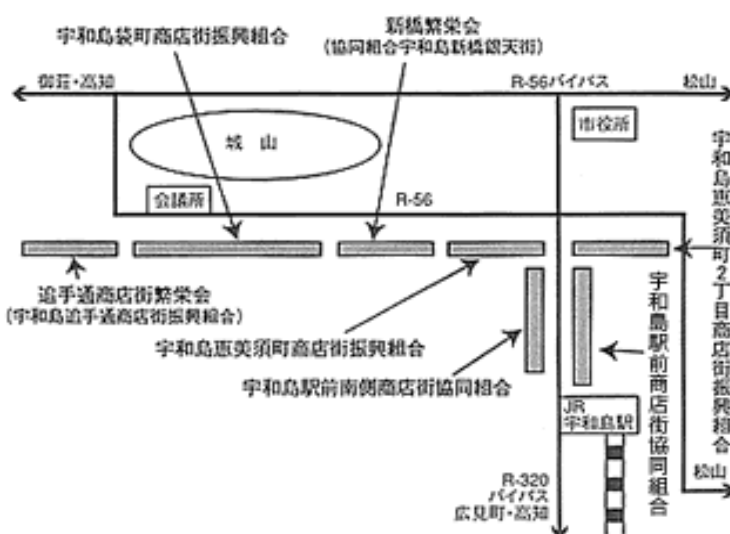
イベントの時は、多くの店同士で連携を取り合い商店街全体を盛り上げるよう工夫していることが分かった。しかし、日常的な協力体制は確立されていないようだ。

ウ 宇和島の特産品の活用について

あるかまぼこ店では、地元で獲れた魚や貝を利用した醤油を販売していた。試行錯誤を重ねて、地元の特産品を活用した商品開発に取り組んでいるということが分かった。

エ 商店街のイベントについて

各店舗でも、商店街全体でも定期的にイベントを行っている。一部の店では、夏休み中に毎朝ラジオ体操を行い、商店街に足を運ぶきっかけを作る努力をしていることが分かった。



宇和島きさいやロード周辺の略図

5 考察

若い世代の人々の目を商店街へ向けさせるために、若い人々から意見やアイデアを集め、それを積極的に反映するとよいのではないかと考えた。店舗の代表者が集まり話し合いを重ねることで、協力体制を確立していくことができると思う。宇和島には海と山から採れる多くの特産品があり、それらを積極的に取り入れていくことで、宇和島にしかないよさが出てくるのは間違いない。また、イベントやSNSなどを活用し、商店街をはじめ宇和島の魅力を大勢の人に宣伝することが重要であると考える。

6 まとめと今後の課題

今の商店街の状況は、来訪者の数が減少状態にあることが分かった。宇和島や南予全体をさらに盛り上げるためにも、やはり商店街がにぎやかにならなければいけないと思う。地域や学校と協力したり、ボランティアなどを募集したり、宣伝活動やイベントを開催したり、継続的で地道な活動が活気のある商店街につながるだろう。何より、私たち一人一人が、地域を盛り上げようという気持ちを忘れないようにすることが大切である。

7 参考文献

- ・宇和島きさいやロード <http://town.ehime-iinet.or.jp/uwajima/>
- ・国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」による宇和島市の 5 歳年齢階級別人口の推移等 <http://ecitizen.jp/Population/City/38203>